

# 「水災害対策とまちづくりの連携のあり方」検討会について

## 背景・必要性

- 近年、各地で大水害が発生しており、今後、気候変動の影響により、さらに降雨量の増加や海面水位の上昇により、水災害が頻発化・激甚化することが懸念。
- このような気候変動により増大する水災害リスクに対して、堤防整備等の水災害対策の推進に加えて、土地利用や建築物の構造の工夫、避難体制の構築など、防災の視点を取り込んだまちづくりの推進が必要。
- このため、治水・防災部局とまちづくり部局が連携して、専門家、有識者の意見を伺いながら、水災害に対するリスクの評価及び防災・減災の方向性について検討。

## 検討項目

### (1) 水災害に関する各種ハザード情報のあり方の検討

水災害に関する各種ハザード情報について、まちづくり等に活用するためのあり方の検討

- ①水災害対策や、災害の発生頻度に応じたリスク情報の整備
- ②各種ハザード情報の統合手法の検討 など

### (2) 各種ハザード情報の具体的なまちづくりへの反映手法の検討


各種ハザード情報を踏まえた土地利用方策の検討

- ①ハザード情報を踏まえた開発規制の検討
- ②ハザード情報を踏まえた立地誘導の基本的な考え方の検討 など

### (3) 水災害対策とまちづくりの連携によるリスク軽減手法の検討

水災害対策とまちづくりの連携による有効なリスク軽減手法の検討

- ①氾濫の防止や制御のための水災害対策
- ②建物構造の工夫（嵩上げ等）
- ③高台や民間ビル等を活用した警戒避難体制 など

- 
- ・連携強化策について議論、整理
  - ・水災害対策とまちづくりの連携促進のためのガイドラインをとりまとめ

## 関係部局

都市局、水管理・国土保全局、住宅局

## スケジュール案

令和2年1月8日	第一回検討会
令和2年2月頃	第二回検討会
令和2年4月頃	第三回検討会
令和2年6月頃	第四回検討会（とりまとめ（案））